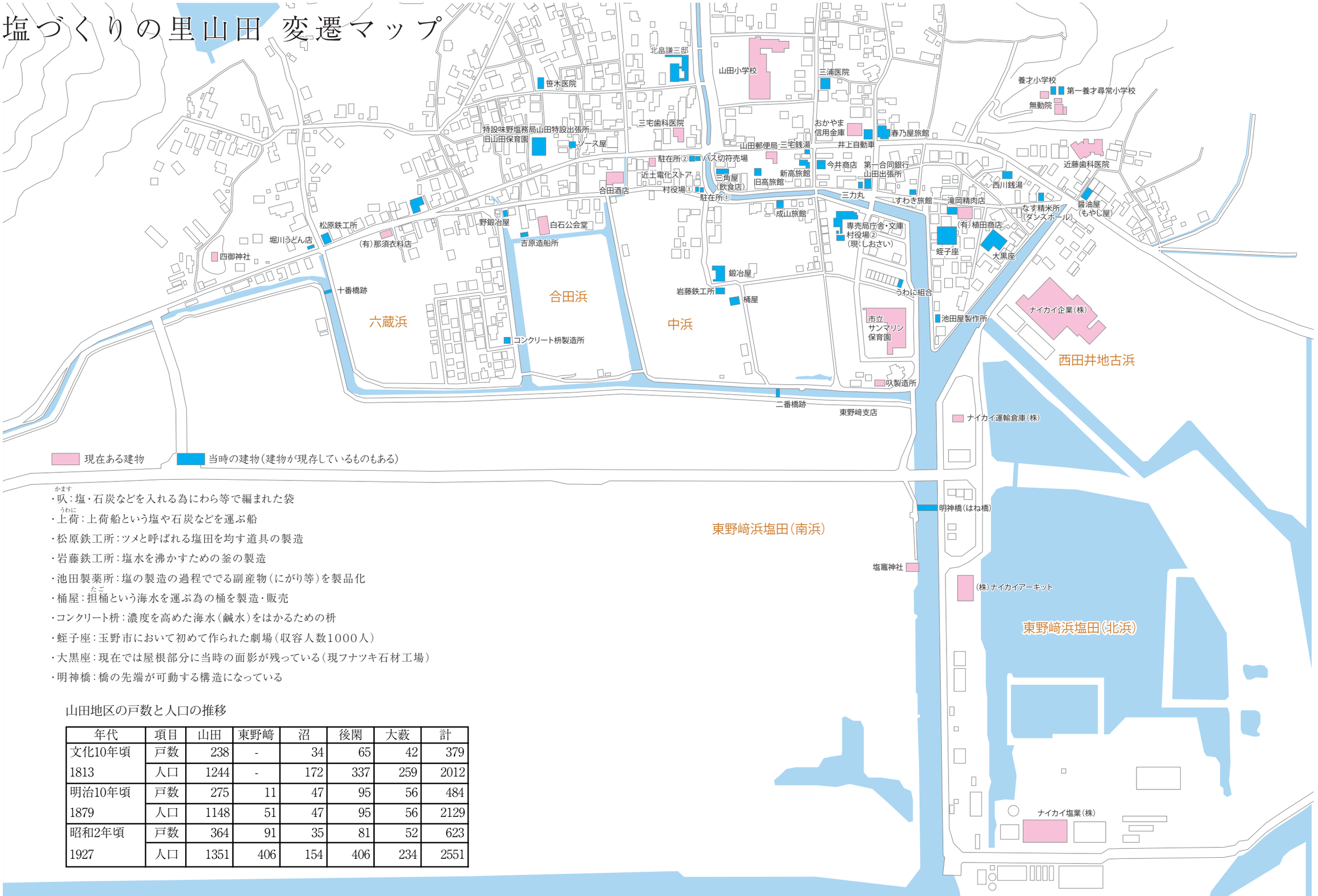
塩づくりの里山田 変遷マップ



・叭（かます）：塩・石炭などを入れる為にわら等で編まれた袋
・上荷（うわに）：上荷船という塩や石炭などを運ぶ船
・松原鉄工所：ツメと呼ばれる塩田を均す道具の製造
・岩藤鉄工所：塩水を沸かすための釜の製造
・池田製薬所：塩の製造の過程ででる副産物（にがり等）を製品化
・桶屋：担桶（たご）という海水を運ぶ為の桶を製造・販売
・コンクリート枡：濃度を高めた海水（鹹水）をはかるための枡
・蛭子座：玉野市において初めて作られた劇場（収容人数1000人）
・大黒座：現在では屋根部分に当時の面影が残っている（現フナツキ石材工場）
・明神橋：橋の先端が可動する構造になっている

山田地区の戸数と人口の推移

年代	項目	山田	東野﨑	沼	後閑	大藪	計
文化10年頃	戸数	238	-	34	65	42	379
1813	人口	1244	-	172	337	259	2012
明治10年頃	戸数	275	11	47	95	56	484
1879	人口	1148	51	47	95	56	2129
昭和2年頃	戸数	364	91	35	81	52	623
1927	人口	1351	406	154	406	234	2551